令和８年度

びわこ学院大学短期大学部

_確認（更新）申請書

（様式第２号の 1～4）

様式第２号の１－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	びわこ学院大学短期大学部
設置者名	学校法人　滋賀学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	ライフデザイン学科	~~夜・通信~~	1		38	39	7	
		夜・通信						

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ＷＥＢシラバス（https://cns.newton.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx）の検索画面で、キーワード欄に実務家教員と入力すると、対象科目の一覧が表示される。

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	びわこ学院大学短期大学部
設置者名	学校法人滋賀学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ「情報公開」に掲載
https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社 代表取締役社長	2025 年 10 月 28 日～ 2029 年 6 月評議員会	渉外担当
非常勤	治療院　副院長	2025 年 6 月 6 日～ 2029 年 6 月評議員会	総務担当
非常勤	学校法人　評議員 （他法人）	2025 年 10 月 28 日～ 2029 年 6 月評議員会	学術担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	びわこ学院大学短期大学部
設置者名	学校法人　滋賀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

・12 月下旬に作成依頼（作成期間：約１ケ月）
・教授会において、作成マニュアルの説明を行っている。
・作成依頼項目は全 25 項目。
【講義コード、講義名、講義区分、基準単位数、授業に関する問合わせ先、必選区分、配当年次、受講者制限、担当教員、ディプロマ・ポリシーにおける授業科目の位置付け、到達目標、授業概要、授業計画表（学習内容、キーワード、学習課題（予習・復習））、テキスト、参考書・参考資料等、到達目標の評価の方法、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、履修しておくべきことが望まれる科目、教材費用・実習費用等の負担費用、その他特記事項、備考、参考用 URL、参考用 E-mail、授業用 URL、授業用 E-mail】
・2 月中旬から事務局及び各コース教務委員による確認を実施
・確認結果により、修正依頼　→　3 月 20 日前後に公表

授業計画書の公表方法	ホームページ https://cns.newton.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

・各授業科目の単位認定にあたっては、試験・レポート等、シラバスに記載された方法に基づき評価がなされる。
・欠席が全授業数の３分の１以上になると、単位が認定されない。
・評価と点数の関係は、以下の通りである。

	評点	評価	判定内容
合　格	100～90 点	ＳＡ	特に優れた成績を示した
	89～80 点	A	優れた成績を示した
	79～70 点	B	妥当と認められる成績を示した
	69～60 点	C	合格と認められる最低限度の成績を示した
不合格	59～ 0 点	D	合格と認められるに足る成績を示さなかった
	出席日数不足	H	

・ＧＰＡ制度を設けており、前学期のＧＰＡに応じて、履修可能な単位数が変動する仕組みを設けている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

・前頁２の評価と点数の関係に基づき、各評価にＧＰを設定している。（①参照）
ＧＰＡの算出方法は②の通りである。

・各学期末の成績通知時に、各授業科目の評価とあわせて、ＧＰＡを通知している。

① 成績評価とＧＰの関係

評点	評価	GP
100～90 点	ＳＡ	4.0
89～80 点	A	3.0
79～70 点	B	2.0
69～60 点	C	1.0
59～ 0 点	D	0.0
出席日数不足	H	0.0

② ＧＰＡの算出方法

GPAの算出方法

$$\frac{\text{（修得単位 × GP）の合計}}{\text{履修登録科目の単位数合計}}$$

※分母は不合格科目も含め、履修登録した全科目の合計単位

※添付資料 … １年次終了時の成績分布状況資料

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

・コースごとに以下のとおりディプロマポリシーを定め、公表している。

児童学コース

知識・技能	①幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。
思考・判断・表現	②幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 ③教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲・態度	④自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 ⑤専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。

健康福祉コース

知識・技能	①家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している
思考・判断・表現	②健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 ③健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。
関心・意欲・態度	④健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 ⑤健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。

キャリアデザインコース

知識・技能	①家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。
思考・判断・表現	②日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 ③他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によって的確に伝えることができる。
関心・意欲・態度	④自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。 ⑤人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。

・卒業研究を踏まえた単位修得の状況を確認し、卒業を認定している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	学生ハンドブック ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#diploma）

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	びわこ学院大学短期大学部
設置者名	学校法人滋賀学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページ「情報公開」に掲載 https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和８年度事業計画書　対象年度：令和８年度）
公表方法：学校法人滋賀学園ホームページ「情報公開」に掲載 https://shigagakuen.net/disclosures/
中長期計画（名称：びわこ学院大学短期大学部　中期目標・中期計画 対象年度:2024 年度～2028 年度）
公表方法：本学ホームページ「情報公開」に掲載 https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：本学ホームページ「情報公開」に掲載 https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学ホームページ「情報公開」に掲載 https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　学校法人　滋賀学園

教育研究上の目的（公表方法：学生ハンドブック、
ホームページ　https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#motto　）

（概要）
本学の母体である学校法人滋賀学園の創始者森はなの 80 余年の長きにわたり提唱してきた「地域に貢献できる人材育成」を建学の精神として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学術を教授研究し、国際的な視野及び幅広く高度な学識を身につけた有為な人材を育成し、もって地域社会の発展と学術・文化の向上に寄与することを目的とする。

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：学生ハンドブック、
ホームページ　https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#diploma　）

（概要）

児童学コース

知識・技能	①幼児教育・保育に関する基本的な知識・技能を修得している。
思考・判断・表現	②幼児教育・保育の問題・課題を多面的・多角的に捉え、適切な対応を考察することができる。 ③教育・保育活動に取り組むための、豊かな表現力を身につけている。
関心・意欲・態度	④自己の目的を明確にし、その達成に向け、意欲をもって継続的な研鑽ができる。 ⑤専門職としての使命感・責任感と、人間関係を豊かに育てるコミュニケーション力をもち、地域社会の一員として適切な行動ができる。

健康福祉コース

知識・技能	①家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、健康管理・介護福祉の専門家としての幅広い教養と専門的知識・技能を修得している
思考・判断・表現	②健康や介護に関する諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 ③健康管理・介護福祉に取り組むため、多様な価値観を受容し、よりよい環境を構築するために他者と協同しながら思考することができる。
関心・意欲・態度	④健康管理・介護福祉について、継続的に研鑽する学習意欲を持っている。 ⑤健康管理・介護福祉の専門家として、人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、健康管理や介護を必要とする人の地域社会における生活を支援することができる。

キャリアデザインコース

知識・技能	①家庭、職場、地域社会など広範囲な生活領域で、より豊かに生きるために必要な幅広い教養と専門的知識・技能を修得している。
思考・判断・表現	②日常生活における諸問題について、修得した知識と技能のもと、論理的に思考し、合理的な問題解決に向けての判断ができる。 ③他者の声に耳を傾け、自分の考えを口頭や文章によって的確に伝えることができる。
関心・意欲・態度	④自己の学習課題を明確にし、課題解決に向けて継続的に研鑽する意欲を持っている。 ⑤人間関係を豊かに育てることができる“人間味”を備え、良識のある社会人として適切な行動ができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：学生ハンドブック、
ホームページ　https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#curriculum　）

（概要）

児童学コース

建学の精神、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、「教養教育科目」「専門教育科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

1. 教養教育科目は学科共通であり、「①基礎」「②健康」「③大学入門」「④ユニバーサル」「⑤留学生」に区分して授業を開講する。
   ①基礎…基礎教養の獲得
   ②健康…健康の基礎づくりへの理解促進
   ③大学入門…短期大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の涵養
   ④ユニバーサル…（外国語）「読む・書く・話す・聞く」の 4 技能の習得
   （パソコン）基本的な情報処理技術の習得
   ⑤留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解（留学生限定科目）

2. 専門教育科目に「⑥学科コア」科目を設け、必修科目を開講する。
   良好な人間関係構築を目的に、コミュニケーション技術の基礎を身に付けるため、1 年次に「人間関係とコミュニケーション」を履修する。
   自ら発見した課題を論理的に分析し、考えを文章で表し、プレゼンテーションやディスカッションができる力を身に付けるため、1 年次に「ライフデザイン基礎」2 年次に「ライフデザイン研究」を履修する。

3. 幼稚園教諭、保育士を目指す授業科目を専門教育科目の「⑦児童学」に区分して授業を開講する。
   ⑦児童学…　乳児期、幼児期の教育、保育、福祉に関する実践的指導力を身に付ける。教育者・保育者を目指す学びを積み上げ、子どもの健やかな育ちと学びを支えることができる確実な指導力を持つ専門職の養成を目指す。教育実習・保育実習の学外実習科目を配置し、教育現場、福祉現場等において、必要な責任感や使命感を学び、適切に思考し判断することのできる力量の育成を目指す。

   他コース科目…　分野を超えた科目を配置し、履修可能とすることで、学生の視野・興味・関心を広げ、社会をより豊かに生きるために必要な知識の獲得を目指す。

上記教育課程を通じて、教育者・保育者等の専門的職業人がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学修成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。

健康福祉コース

建学の精神、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、「教養教育科目」「専門教育科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

1. 教養教育科目は学科共通であり、「①基礎」「②健康」「③大学入門」「④ユニバーサル」「⑤留学生」に区分して授業を開講する。
   ①基礎…基礎教養の獲得
   ②健康…健康の基礎づくりへの理解促進
   ③大学入門…短期大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の涵養
   ④ユニバーサル…（外国語）「読む・書く・話す・聞く」の 4 技能の習得、（パソコン）基本的な情報処理技術の習得
   ⑤留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解（留学生限定科目）

2. 専門教育科目に「⑥学科コア」科目を設け、必修科目を開講する。
   良好な人間関係構築を目的に、コミュニケーション技術の基礎を身に付けるため、1 年次に「人間関係とコミュニケーション」を履修する。
   自ら発見した課題を論理的に分析し、考えを文章で表し、プレゼンテーションやディスカッションができる力を身に付けるため、1年次に「ライフデザイン基礎」2年次に「ライフデザイン研究」を履修する。

3. 介護福祉士、健康管理士を目指す授業科目を専門教育科目の「⑧健康福祉」に区分して授業を開講する。

⑧健康福祉… 健康管理と介護福祉の双方の知識、技能を修得し、健康管理や介護を必要とする人が、その人らしい生活を送れるよう適切な支援ができる確実な力を有する専門職の養成を目指す。介護実習の学外実習科目を配置し、高齢者福祉の現場において、適切に思考し判断することのできる力量の育成を目指す。

他コース科目… 分野を超えた科目を配置し、履修可能とすることで、学生の視野・興味・関心を広げ、社会をより豊かに生きるために必要な知識の獲得を目指す。

上記教育課程を通じて、介護福祉士、健康管理士の専門的職業人がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学修成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。

キャリアデザインコース

建学の精神、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）を達成するために、「教養教育科目」「専門教育科目」で教育課程を編成する。授業科目は、講義、演習、実習・実技等を適切に組み合わせて開講する。

1. 教養教育科目は学科共通であり、「①基礎」「②健康」「③大学入門」「④ユニバーサル」「⑤留学生」に区分して授業を開講する。
①基礎…基礎教養の獲得
②健康…健康の基礎づくりへの理解促進
③大学入門…短期大学における学びの基本の習得、社会で活躍する際に基盤となる社会性及び自立性の涵養
④ユニバーサル…（外国語）「読む・書く・話す・聞く」の 4 技能の習得、（パソコン）基本的な情報処理技術の習得
⑤留学生…基本的な日本語会話の習得、日本事情の理解（留学生限定科目）

2. 専門教育科目に「⑥学科コア」科目を設け、必修科目を開講する。
良好な人間関係構築を目的に、コミュニケーション技術の基礎を身に付けるため、1 年次に「人間関係とコミュニケーション」を履修する。
自ら発見した課題を論理的に分析し、考えを文章で表し、プレゼンテーションやディスカッションができる力を身に付けるため、1年次に「ライフデザイン基礎」2年次に「ライフデザイン研究」を履修する。

3. 現代社会の一員として責任を果たすための基本的態度、表現力、主体性、協調性を身につけるための専門教育科目を「⑨キャリアデザイン」に区分して授業を開講する。

⑨キャリアデザイン… 自身や周囲の人々の家庭生活、職場や地域での活動をより豊かで健全なものとすることができるよう、居住環境、情報活用、企業活動、地域政策にかかわる授業科目を履修する。職業人として必要な基本的知識・技能を幅広く習得する。

他コース科目… 分野を超えた科目を配置し、履修可能とすることで、学生の視野・興味・関心を広げ、社会をより豊かに生きるために必要な知識の獲得を目指す。

上記教育課程を通じて、地域社会が求める職業人がもつべき知識・技能、思考力・判断力・表現力、豊かな人間性を育む。

各科目の学修成果は到達目標・評価基準に照らし合わせて評価する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学案内、ホームページ https://www.biwakogakuin.ac.jp/introduction/idea#admission）

（概要）

児童学コース

知識・技能	・高等学校等における幅広い学習において取り扱われる知識・技能を全般的に身につけている人 ・保育・幼児教育を学ぶための基礎的知識・技能を身につけている人
思考・判断・表現	・多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力を育むことができる人 ・問題を解決するために根拠に基づいた論理的思考力や判断力を有する人
関心・意欲・態度	※態度…主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 ・子どもへの深い愛情を持ち、保育・幼児教育に情熱を有する人

		・保育士や幼稚園教諭等の保育・幼児教育について、専門的に研究したいと思う人 ・子どもを取り巻く諸問題を真剣に受け止め、福祉・教育現場で自ら問題解決に取り組もうとする人
健康福祉コース		
	知識・技能	・高等学校等における幅広い学習において取り扱われる知識・技能を全般的に身につけている人 ・人々の健康や福祉を学ぶための基礎的知識・技能を身につけている人
	思考・判断・表現	・多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力を育むことができる人 ・問題を解決するために根拠に基づいた論理的思考力や判断力を有する人
	関心・意欲・態度	※態度…主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 ・高齢者・障がい者・健康福祉について興味があり、専門職としての学識と職能を得たい人 ・高齢者・障がい者・健康福祉について、専門的に研究したいと思う人 ・高齢者や障がい者を取り巻く諸問題や健康管理に関連する多様な課題を真剣に受け止め、福祉の現場や地域社会で自ら問題解決に取り組もうとする人
キャリアデザインコース		
	知識・技能	・高等学校等における幅広い学習において取り扱われる知識・技能を全般的に身につけている人 ・地域の課題や人々のくらしを学ぶための基礎的知識・技能を身につけている人
	思考・判断・表現	・多面的な視点から思考し、自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力を育むことができる人 ・問題を解決するために根拠に基づいた論理的思考力や判断力を有する人
	関心・意欲・態度	※態度…主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 ・家庭、職場、地域社会における人々のくらしについて興味があり、それぞれにおけるくらしをより豊かなものとするための学識と職能を得たい人 ・地域政策学、情報学、生活科学について、専門的に研究したいと思う人 ・家庭、職場、地域社会における人々のくらしを取り巻く諸問題を真剣に受け止め、それぞれの現場で自ら問題解決に取り組もうとする人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：（自己点検評価報告書）
https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	人	－					人
ライフデザイン学科	－	4 人	4 人	2 人	人	人	10 人
	－	人	人	人	人	人	人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
1 人	人	1 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://cns.newton.ac.jp/public/v2kgr/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

アンケート（授業改善、授業評価）、公開授業、卒業時アンケート
GPS－Academic（アセスメントテスト）結果報告、全学 FD 研修会

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
ライフデザイン学科	80 人	51 人	63.8%	160 人	99 人	61.9%	人	人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	80 人	51 人	63.8%	160 人	99 人	61.9%	人	人

（備考）

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
	48 人 (100%)	3 人 (6.3%)	44 人 (91.7%)	1 人 (0.2%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	48 人 (100%)	3 人 (6.3%)	44 人 (91.7%)	1 人 (0.2%)

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）
https://www.biwakogakuin.ac.jp/junior_college/recruit

（備考）

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）
合計	人 （100%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）	人 （　　%）

（備考）

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）
・全授業科目について、シラバスを作成し公開している。
・作成項目は全 25 項目。
【講義コード、講義名、講義区分、基準単位数、授業に関する問合わせ先、必選区分、配当年次、受講者制限、担当教員、ディプロマ・ポリシーにおける授業科目の位置付け、到達目標、授業概要、授業計画表（学習内容、キーワード、学習課題（予習・復習））、テキスト、参考書・参考資料等、到達目標の評価の方法、課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法、履修しておくべきことが望まれる科目、教材費用・実習費用等の負担費用、その他特記事項、備考、参考用 URL、参考用 E-mail、授業用 URL、授業用 E-mail】

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）
・各授業科目の単位認定にあたっては、試験・レポート等、シラバスに記載された方法に基づき評価される。
・欠席が全授業数の 3 分の 1 以上になると、単位が認定されない。
・評価と点数の関係は、以下の通りである。

	評点	評価	判定内容
合　格	100～90 点	SA	特に優れた成績を示した
	89～80 点	A	優れた成績を示した
	79～70 点	B	妥当と認められる成績を示した
	69～60 点	C	合格と認められる最低限度の成績を示した
不合格	59～ 0 点	D	合格と認められるに足る成績を示さなかった
	出席日数不足	H	

・卒業研究を踏まえた単位修得の状況を確認し、卒業を認定している。

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	ライフデザイン学科（児童学コース）	62 単位	有・無	単位
	（健康福祉コース）	91（62）単位	有・無	30 単位
	（ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝコース）	62 単位	有・無	単位

ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）	公表方法： https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）	公表方法：

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ「情報公開」に掲載 https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	ライフデザイン学科 児童学コース	760,000 円	200,000 円	270,000 円	その他は教育充実費 また、免許・資格課程履修登録状況に合わせて、実験実習費を別途請求
	ライフデザイン学科 健康福祉コース	760,000 円	200,000 円	335,000 円	その他は、 教育充実費 270,000 円 実験実習費 65,000 円
	ライフデザイン学科 キャリアデザイン コース	760,000 円	200,000 円	270,000 円	その他は教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）入学時に、授業や履修登録、単位認定等の教育課程に関すること、学生生活や奨学金等の生活支援、進路就職に関すること等についてオリエンテーションを実施している。また、クラス・ゼミ担任制を敷いており、個別面談等を通して在学中の学修支援を行っている。発達障害等の特性により修学に課題のある学生に対しては、修学特別支援室でケース検討を行い、可能な支援を行っている。また、学内奨学生制度・公務員奨励金・資格取得奨励金等を設けることで学生が向学心を強く持つことでポジティブに充実した学生生活を送れるよう支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）本学では、「きめ細かな個別支援」をモットーに、年間を通して就職希望者とのキャリア支援体制を整えるとともに、就職支援に関わる様々な支援事業を行っている。学生の多くが入学時点で小学校教員や養護教諭、保育士・幼稚園教諭など卒業後の就職が明確なこともあり、様々な「学力養成講座」「試験対策講座」等を実施している。また、公務員・一般企業等に就職を希望する学生に対しては「職務適性検査」や個別面談等を通して、希望進路の実現に向けて求人開拓等を行うとともに「就職対策講座」を実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）本学では、保健室を設け養護教諭による健康相談に応じるとともに、学内での不測の負傷や病気が起きたときの応急措置を行っている。また、教職員に相談担当者がおり、学生生活や様々な悩みや迷い等の相談に応じている。学生相談室には非常勤カウンセラーを配置し週に１回の面談ができるよう配置し、不登校傾向や心身に悩みを持つ学生が利用している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.biwakogakuin.ac.jp/compliance

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F225310107396
学校名（○○大学 等）	びわこ学院大学短期大学部
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人滋賀学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		２９人（　１９　）人	３０人（　１９　）人	３２人（　２０　）人
内訳	第Ⅰ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（　一人）	（　一人）	
	第Ⅱ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（　０人）	（　０人）	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（　０人）	（　一人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	０人	０人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	一人	一人	
	区分外（多子世帯）	１４人	１５人	
家計急変による 支援対象者（年間）				０人（　０　）人
合計（年間）				３２人（　２０　）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	０人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	０人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	０人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	０人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	０人	―人
計	人	０人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	０人	後半期	０人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	―人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	―人	―人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	―人	0人
計	人	―人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。